

### 第3回鹿沼市総合計画審議会議事録

開催日時	平成23年5月11日(水)13時30分～15時50分
開催場所	鹿沼市民文化センター 大会議室
出席者	総合計画審議会委員：22名 鹿沼市：佐藤市長、福田副市長、角田教育長、大貫総務部長、金子企画課長ほか 企画課職員
会 議	<p>○開 会(進行:金子課長)</p> <p>1 会長あいさつ</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 協議</p> <p>(1) 分科会状況報告 各分科会長から報告</p> <p>(委員) 分科会で提案事項に対し、分科会検討前から、行政の回答があったのはおかしい。市民の声をきいたのではなく、結局行政の案になってしまう。震災で大変だと思うが、分科会を中止にするのではなく、無理してもやるべきだった。</p> <p>(2) 基本構想素案について</p> <p>(委員) p2の図、基本構想は土台なので、上下逆じゃないか</p> <p>(事務局) そういう考えもあるが、ピラミッドの頂点が基本構想という考えでこのように表現している。</p> <p>(委員) p3の地図、鹿沼市の計画だから鹿沼市を中心に絵を描くべき</p> <p>(事務局) 事務局でもその方向で差し替える予定。</p> <p>(委員) p10～文の中に「鹿沼らしさ」を入れたほうがよい。他市町村でも使える文だ。</p> <p>(事務局) 今まではコンサルが作っていたが、今回は職員の手作り。基本構想なので、共通の部分が多く、どこでも使えるものになってしまう。基本計画の中で個別に「らしさ」をだしていく。</p> <p>(委員) p10集約されたまち、歩いて暮らせるのは中心街のみ。山間部過疎地域で歩いて暮らすのは無理。山間部についても考えてほしい。</p> <p>(事務局) 基本構想はすべてについて記載できない。特出しになってしまう。基本計画の中で中山間地域についても対応していく</p> <p>(委員) 例えば日光市などと経済効果が起こるような交流が必要。日光に行く観光客に新鹿沼でおりてもらい例幣使街道をバスで行くことなどはどうか。</p> <p>(会長) 市長、東武沿線協議会で話題になっているか。</p> <p>(市長) 外部からの目線は参考になる。具体的な話はでていない。仕掛けを考えて生きたい。</p> <p>(委員) p8「高い地理的優位性」に違和感がある。「恵まれた」の方がいい。</p> <p>(事務局) 「高い」は「優位性」にかかる。理解してほしい。</p> <p>(市長) そういうことを含めて議論するのがこの会だ。事務局で理解を求めてはいけない。</p> <p>(会長) 素案なので、言葉を変えていくことも大切。</p>

(委員) p8 活力ある多様な産業と物産、まちづくりの方向性の中で、産業の発展、どう生かすかについて詳しく書いていない。経済の活性化は市の発展のために必要。まちづくりの方向性の中に産業の活性化の方向性をいれるべき。

(事務局) 経済部門と再度調整する。

(委員) この計画を作った職員が人事異動でいなくなってしまう。計画の行く末を見守れるよう、人事で配慮してほしい。

(副市長) 委員のみなさんには任期後、この計画がどのようなになっていったか検証していただく。計画は行政のやることなので人員は変わっても継続される。

(委員) 第5次と第6次で特に変わった点は。

(事務局) 人口減の計画はこれが初めてで最大の特徴。

(会長) 教育ビジョンとの関係は

(教育長) 総合計画との整合性をとっている。

(委員) 教育ビジョンは鹿沼市の特徴を捉えている。総合計画でも参考にしてほしい。

(委員) 成長型の計画は作れない。さまざまな組織等が協働でやっていくことが必要だ。協働の記載が p6 潮流では2番目だが p10 方向性では4番目なので記載順番をあげてほしい。

(事務局) 検討する。

(会長) 防災関係ではどうか。

(委員) 消防団のなり手がいない。市全体として対応を検討してほしい。委員の知恵を借り、意見をいれてほしい。

(委員) 経済部関係者も会議に来てほしい。

(事務局) 今回は素案の検討で総合的な話なので召集していない。次回は同席させる。

(委員) p8 地域に根付く市民力、「根付く」より「発展する」ニュアンスをいれてほしい。

(事務局) どのような言葉がいいか提案してほしい。

(委員) p12 将来像都市像、抽象的すぎる。イメージのつくキャッチフレーズを。

(事務局) 意見募集中。最終的に1つのフレーズにする。

(委員) 「行政改革日本一のまち」提案は私。米ピッツバーグ市は不況時に市の業務の8割を民間に出した。鹿沼でもある程度はできるはず。

(事務局) キーワードは p19 の体系の中に入れていきたい。都市像はワンフレーズなので不採用になる提案もある。

(委員) p10 新たな人や企業を呼び込むのは難しいことだが、いいことだ。首都圏で鹿沼ほど安全、自然豊か、水のおいしいところはない。これをPRして、本気になって産業の活性化に取り組むべきだ。

(事務局) この文章は経済部から提案があったので、これに見合った施策提案があると思う。

(会長) 私は自治基本条例の委員をやっている。みんな真剣にやっている。今度市民の意見を聞きに行く。

(委員) 第2分科会で教育文化の向上を提案した。歴史・文化・伝統をもう一度地域ごとに見直し、学校できちんと教えることが大切。地域の人がか大切に思うことが人口増にもつながる。

(事務局) ご意見としていただく。

(教育長) 教育部門では鹿沼市に散在している文化物を1つにくるめ、「鹿沼丸ごと博物館」として考えていくことを考えている。

(委員) エジプト考古学の吉村教授が栃木に大学を建てたいと言っている。留学生を確保して、学生は集められる。遊休地の活用、街の活性化になる。

(委員) 鹿沼土に資源税を課してはどうか。

(委員) 大学誘致賛成。人脈を使えばできる可能性がある。長い時間をかけてもやるべき。

(委員) 前回の総合計画の際に大学誘致の提案をした。教育機関があると産業就労などに波及効果がある。

(委員) 大学誘致反対。今は大学が淘汰される時代で、地方大学は苦しい。自治体の財政負担も大きい。よほど特化しないと厳しい。

(会長) 議会としてはどうか

(委員) 大学の話はない。昔ちょっとあったが今はない。

(委員) p10 地域資源、企業誘致のほうが新事業を起こすよりたやすいが、外部企業は不況になると撤退してしまう。地元で産業を起こすことが必要。農産加工業など研究、開発も含めて真剣に施策の中で検討してほしい。

(会長) 今日の意見を参考に案を作ってほしい。

### (3) 今後の進め方

(委員) 了承

### (4) その他

(委員) 飯舘村で避難が始まる。原発避難民に土地を無料提供する自治体もあるようだ。鹿沼市もその避難民や現地企業を誘致してはどうか

(市長) 再建に向けて努力している状況では言いにくい。頭の片隅においておき、そのときに備え、遊休地や空き工場についての情報を集めている。

(会長) 最後に市長ひとこと。

(市長) 熱心な協議、感謝する。人口減は意見が分かれるが、政策立案の基本なので現実をみて設定した。最低ラインとして設定し、様々な施策を考えて行きたい。現在は交流人口の増加に力をいれている。経済の安定は街の発展の基本なので力を注ぐ。これからは厳しい時代、意識改革をしてみんなが一体となって市の発展に向かうことが大切だ。今後もみなさんの知恵や力を貸してほしい。

○ 閉 会